

【テキストの修正】すべてがわかる世界遺産大事典〈第2版〉世界遺産検定1級公式テキスト〔下巻〕

\* 下の表の「HP掲載日」が、書籍の奥付にある増刷日より前のものは、修正が反映されています。

修正後	修正前	HP掲載日
◆ P.002- 本書の使い方		
本書は、2020年4月現在の	← 本書は、2020年8月現在の	2020年4月30日
本書は、2022年8月現在の	← 本書は、2020年4月現在の	2020年8月13日
本書は、2020年11月現在の	← 本書は、2020年8月現在の	2020年11月22日
本書は、2021年2月現在の	← 本書は、2020年11月現在の	2021年2月22日
本書は、2021年8月現在の全世界遺産1,154件及び日本の暫定リスト記載の遺産5件を	← 本書は、2021年2月現在の全世界遺産1,121件及び日本の暫定リスト記載の遺産7件を	2021年8月1日
本書は、2021年9月現在の	← 本書は、2021年8月現在の	2021年9月16日
本書は、2022年1月現在の	← 本書は、2021年9月現在の	2022年1月26日
本書は、2022年8月現在の	← 本書は、2022年1月現在の	2022年8月30日
◆ P.15 - 地域別地図 中央アメリカ 下部(48)『サカテカスの歴史地区』の位置		
	←	2021年11月24日
◆ P.30 - ヴェローナの市街 1段落目5行目		
エルベ広場やシニョーリ広場	← シニョーリ広場やエルベ広場	2021年8月23日
◆ P.43 - マルタの巨石神殿群		
登録年 1980年 / 1992年範囲拡大 / 2015年範囲変更	← 登録年 1980年 / 1992年範囲拡大	2021年1月26日
◆ P.44 - ゴーハムの洞窟群 写真及びキャプション		
写真及びキャプションを削除	←	2023年5月16日
◆ P.46 - クシェミオンキにある先史時代の縞状フリント(火打石)採掘地域 1行目		
シフェントクシスキエ地区の山間部にある4つの鉱山遺跡群である	← シフェントクシスキエ地区の山間部にある4つの炭鉱遺跡群である	2023年4月19日
◆ P.110 - ブダペスト:ドナウ河岸とブダ城地区、アンドラーシ通り(写真キャプション)		
ドナウ川に架かるくさり橋とマーチャーシュ聖堂	← ドナウ川に架かるくさり橋とブダ城	2021年8月23日
◆ P.113 - グラーツ:歴史地区とエッゲンベルグ城 2行目		
王宮を築くと	← エッゲンベルク城を築くと	2021年7月19日
◆ P.113 - グラーツ:歴史地区とエッゲンベルグ城 7行目		
エッゲンベルク城は、1625年に築かれた。建物は層にしたがってデザインされており、4つの塔は四季を、12の門が12カ月を、365の窓が一年の日数を表している。	← エッゲンベルク城は、ゴシック様式のホールや、後期ゴシック様式の礼拝堂、二重のらせん階段やルネサンス様式の庭など、時代時代の建築様式が融合している。	2021年7月19日

◆ P.114 - シギショアラの歴史地区 4行目			
街の東方カルパティア山脈方面から侵入してくる遊牧民に備えた都市で、	←	街の東方カルパチア山脈方面から侵入してくる遊牧民に備えた都市で、	2022年4月11日
◆ P.116 - コトルの文化歴史地域と自然			
登録年 1979年/2012年、2015年範囲変更	←	登録年 1979年/20012年、2015年範囲変更	2020年4月1日
◆ P.155 - ハンザ都市ヴィスビー 写真キャプション			
街を取り囲む城壁	←	聖カトリヌ教会の廃墟	2022年5月13日
◆ P.173 - サン・テミリオン地域 3段落1行目、脚注			
サン・テミリオンはサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼路★沿いに位置し、 (脚注) サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路:世界遺産に登録されている『フランスのサンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路』には、この地域は含まれていない。	←	サン・テミリオンにはサンティアゴ・デ・コンポステーラへの巡礼道も通っており、	2023年6月1日
◆ P.187 - 英国の湖水地方			
登録基準が ii、v、vi	←	登録基準が ii、iii、vi	
◆ P.189 - タルノフスキェ・グレイの鉛・銀・亜鉛鉱山とその地下水管理システム			
文化的景観の表記を削除	←	文化的景観	2023年5月8日
◆ P.196 - モン・サン・ミシェルとその湾			
登録年 1979年 / 2007年、2018年範囲変更	←	登録年 1979年 / 2007年範囲変更	2021年1月26日
◆ P.201 - フランスのサンティアゴ・デ・コンポステーラ			
<a href="#">正しい内容はこちらをご覧ください。</a>			2021年11月24日
◆ P.219 - ムツヘタの歴史的建造物群 写真キャプション			
サムダウロ修道院	←	スヴェティツホヴェリ聖堂	2020年8月13日
◆ P.247 - ラヴェンナの初期キリスト教建造物群 右上写真キャプション			
サン・タポリナーレ・ヌオーヴォ聖堂の「最後の晩餐」	←	サン・タポリナーレ・イン・クラッセ聖堂の「最後の晩餐」	2022年5月19日
◆ P.272 - シュトルーヴェの測地弧 2段落目8行目			
エストニアのタルトゥ天文台など	←	リトアニアのタルトゥ天文台など	2020年4月6日
◆ P.273 - ジョドレルバンク天文台 2段落目4行目			
ラヴェル望遠鏡やマークII望遠鏡などの電波望遠鏡、サーチライト望遠鏡の遺構などの他、	←	ラヴェル望遠鏡や、マークII望遠鏡、トランジット望遠鏡など7つの電波望遠鏡の他、	2021年1月8日
◆ P.280 - クレスピ・ダッダの企業都市 写真キャプション			
クレスピ・ダッダの街並	←	クレスピ・ダッダの街並	2021年6月10日
◆ P.307 - ヴァトナヨークトル国立公園:火山と氷河がつくるダイナミックな自然 1行目			
国土の約14%にあたる1.4万km <sup>2</sup> 以上を占め、	←	国土の約14%にあたる14万km <sup>2</sup> 以上を占め、	2022年1月21日
◆ P.311 - バイカル湖			
<a href="#">正しい内容はこちらをご覧ください。</a>			2022年3月23日
◆ P.312 - アグテレク・カルストとスロバキア・カルストの洞窟群			
地図上のハンガリーとスロバキアの表記を逆に			2020年9月9日
◆ P.332 - 聖都カラル・スペ 2行目			

約1,200年間続いた。	← 約500年間続いた。	2021年8月23日
◆ P.343 - ウシュマルの古代都市 2段落目5行目		
雨の神チャク像	← 雨の神チャクモール像	2020年11月17日
◆ P.343 - ウシュマルの古代都市 脚注		
雨の神チャクの顔	← 雨の神チャクモールの顔	2020年11月17日
◆ P.359 - オウロ・プレトの歴史都市 2段落目		
街を代表するミナス・バロック様式のノッサ・セニョーラ・ド・ピラル教会堂の装飾は、現地で産出されたブラック・ゴールドで一面が装飾され、当時の繁栄を伝える豪華なものである。	← 街を代表するミナス・バロック様式のノッサ・セニョーラ・ド・ピラル教会堂の装飾は、バロック彫刻家アレクサンダー・ニョの傑作で、約400kgもの黄金が使用されている。	2022年7月19日
◆ P.381 - パラナ川沿いのイエズス会布教施設群:ラ・サンティシマ・トリニダ・デ・パラナとヘス・デ・タバランゲ 6行目以降		
レドゥクシオンはアルゼンチンを中心にブラジルとパラグアイにも点在しており、パラグアイに残る8つのミッションのうち、ラ・サンティシマ・トリニダ・デ・パラナとヘス・デ・タバランゲの2か所が登録されている。ラ・サンティシマ・トリニダ・デ・パラナは、最も保存状態のよい都市関連遺産で、イタリアのミラノ出身の建築家ファン・パウティスタ・プリモリの設計による石造りの教会や、学校、回廊、墓地、先住民の住居跡、庭園などが残されている。ヘス・デ・タバランゲの都市遺構は1685年に別の場所で築かれたレドゥクシオンが移築されたもの。未完の教会や隣接する学校、広場跡の他、コティ・グアスとして知られる孤児や未亡人のための家などがあった。イエズス会布教施設群で唯一みられる三つ葉アーチは、ムデハル様式の影響と考えられる。	← 最古の歴史を持つサン・コスメ・イ・ダミアンでは学校や墓地、住居、日時計などの遺構が残る。タバランゲには、広場を中心に建物が建設される教化集落特有の市街地がある。約4,000人が暮らしたとされるラ・サンティシマ・トリニダ・デ・パラナは、最も熱心に伝道に取り組んだ場所で、パラナ川流域の伝道の中心地であった。イエズス会の建築家ファン・パウティスタ・プリモリの設計したラ・サンティシマ・トリニダ聖堂は、1706年に築かれ、キリスト教の聖堂建築とグアラニ人の装飾芸術が融合したものとなっている。	2022年9月26日
◆ P.384 - ケレタロ州シエラ・ゴルダのフランシスコ会ミッション 写真・キャプション		
	← 	2022年3月4日
◆ P.397 - グラン・ブレの景観 4行目		
アカディア人	← アカディア人	2021年8月23日
◆ P.402 - フランク・ロイド・ライトの20世紀の建築 地図		
	← 	2021年6月4日

◆ P.407 - マチュ・ピチュ 2段落3行目			
(絶滅の危)機に瀕するメガネグマや、ペルーの国鳥のアンデスイワドリなどの生息地域となっている。	←	(絶滅の危)機に瀕するアンデスイワドリやオセロット、珍獣とされるメガネグマなどの生息地域となっている。	2023年3月27日
◆ P.409 - ティカル国立公園 16行目			
コンプレックスは四角形の祭礼空間に2基のピラミッドを1組として形成したもので	←	コンプレックスは四角形の祭礼空間に2対のピラミッドを1組として形成したもので	2022年3月7日
◆ P.410 - カンベチエ州カラクムルの古代マヤ都市と保護熱帯雨林群 4段落目4行目			
猫科6種のうちの5種(ジャガー、ピューマ、オセロット、ジャガランディ、ティグリージョ)	←	猫科6種のうちの5種(ジャガー、ピューマ、オセロット、トラ、ライオン)	2021年2月18日
◆ P.410 - カンベチエ州カラクムルの古代マヤ都市と保護熱帯雨林群 2段落目5行目、3段落目2行目、4段落目1行目			
また石碑や彩色土器、副葬品として翡翠のマスクも多く見ついている。 (中略) 巨大なスタッコ(化粧漆喰)のマスクを用いた帯状の装飾が見つかり、この地域で最も古い石造の建造物であると考えられている。 (中略) カラクムルの熱帯雨林は、南米アマゾンのジャングルに次いでアメリカ大陸で2番目に大きな熱帯雨林である。	←	また翡翠のマスクや石碑、彩色土器も多く見ついている。 (中略) 巨大な彩られたスタッコ(化粧漆喰)のマスクなど考古学的に貴重な副葬品が多く見つかり、この地域で最も古い石造の建造物であると考えられている。 (中略) カラクムルの熱帯雨林は、南米アマゾンのジャングルに次いでメソアメリカで2番目に大きな熱帯雨林である。	2022年3月7日
◆ P.413 - リオ・アピセオ国立公園 見出し			
▶絶滅危惧種が多数生息する国立公園	←	▶逃亡奴隷マルーンが独自の文化を築いた山地	2020年10月5日
◆ P.413 - リオ・アピセオ国立公園 3段落目4行目			
およそ8,000年前の遺跡などが見つかった。その中にはチャチャボヤス文化の儀式用らしき建物や畑の跡、基地が残されたグラン・バハテン遺跡などが含まれる。	←	およそ8,000年前に築かれたチャチャボヤス文化の儀式用らしき建物や畑の跡、基地が残されたグラン・バハテン遺跡などが確認された。	2021年7月7日
◆ P.418 - カナディアン・ロッキー山脈国立公園群 4段落目7行目			
グリスリーやアメリカグマ、ピューマなどが生息し	←	グリスリーやアメリカグマ、アメリカライオンなどが生息し	2021年2月18日
◆ P.428 - ダイナソール州立公園 1段落目2行目			
乾燥した原野が広がる州立公園	←	乾燥した原野が広がる国立公園	2021年3月15日
◆ P.428 - ダイナソール州立公園 3段落目1行目			
7,500万年前の白亜紀後期の地層	←	7,500万年前の白亜紀後期の地層	2020年3月23日
◆ P.428 - ダイナソール州立公園 写真キャプション			
発掘されたカスモサウルスの骨格	←	発掘されたトリケラトプスの骨格	2020年3月23日
◆ P.430 - ミステイクン・ポイント 3行目			
5億8000万年～5億6000万年前の	←	5億8000年～5億6000万年前の	2021年6月10日
◆ P.432 - ハワイ火山国立公園 5行目			
その東にある標高1,250mのキラウエア山は、	←	その東にある標高1,200mのキラウエア山は、	2021年1月26日
◆ P.432 - ハワイ火山国立公園 脚注			
マウナ・ロア山:～標高は4,170mだが、	←	マウナ・ロア山:～標高は4,169mだが、	2021年1月26日
◆ P.443 - カリフォルニア湾の島々と自然保護区群			
登録年 2005年/2007年、2011年範囲変更/2019年危機遺産登録	←	登録年 2005年/2007年、2011年範囲変更	2021年3月23日
◆ P.444 - グアナカステ保護地区 3段落目/5～6段落目			
3段落目: 6つの国立公園、自然保護区からなるグアナカステ保護地区はコスタリカ国土の約3%を占め  5～6段落目: 保護地区の約半分は高地で、標高2,000m以上には雲霧林、カリブ海側には熱帯湿潤林、太平洋側には湿度が低く乾燥した	←	3段落目: 6つの国立公園、自然保護区からなるグアナカステ保護地区はコスタリカ国土の2.5%を占め  5～6段落目: 保護地区の約半分は高地で、カリブ海側には雲霧林や雨林などの熱帯湿潤林、太平洋側には温度が低く乾燥した	2022年3月15日

◆ P.445 - マルペロ動植物保護区 9段落目			
陸地でも、ナスカカツオドリが4万羽以上のコロニーをつくるなど、	←	陸地でも、アオツラカツオドリが4万羽以上のコロニーをつくるなど、	2022年3月15日
◆ P.448 - セラード自然保護地域群: ヴェアデイロス平原国立公園とエマス国立公園 1行目			
長年にわたって気候変動期の動植物の避難場所として機能した。	←	年にわたって気候変動期の動植物の避難場所として機能した。	2020年9月9日
◆ P.452- 自然遺産と絶滅危惧種 3段落6行目			
2020年4月現在	←	2020年3月現在	2020年4月30日
2020年8月現在	←	2020年4月現在	2020年8月13日
2020年11月現在	←	2020年8月現在	2020年11月22日
2021年2月現在	←	2020年11月現在	2021年2月22日
2021年8月現在危機遺産52件のうち、	←	2021年2月現在危機遺産53件のうち、	2021年8月1日
2021年9月現在	←	2021年8月現在	2021年9月16日
2022年1月現在	←	2021年9月現在	2022年1月26日
2022年8月現在	←	2022年1月現在	2022年8月30日

最終更新日 2023年6月1日